

## 新マニュアルへの移行に伴う関東森林管理局における 保護林モニタリング調査について

新しいマニュアルへの移行に伴い、関東森林管理局においても、このマニュアルに沿ってモニタリング調査の見直しを行う考えであり、関東森林管理局におけるモニタリング調査の変更点及び基本方針は以下のとおりである。

### 保護林モニタリング調査の基本方針

#### (1) モニタリング実施間隔設定の基本的な考え方

資料 2 - 1 の参考表に基づいて保護林ごとに実施間隔案（別紙 1、資料 2 - 3、2 - 4）を作成した。この中で、直近のモニタリング現地調査で、シカによる被害があると評価された保護林については、オまたはキに該当すると判断して実施間隔を 5 年とした。

今回の保護林管理委員会に報告の後、保護林ごとのモニタリング間隔を決定し、管理方針書への記載を行うものとする。来年度については、今年度基礎調査を行った保護林全てを対象に新しいマニュアルに基づいたモニタリング調査を行う。

また、実施間隔が 10 年となった保護林については、調査プロットの保全という観点から、森林官等による巡視を行うものとし、シカによる被害が確認された場合はニホンジカチェックシート等により被害状況を報告することとする。

なお、状況変化等により、個々の保護林について、実施間隔の短縮が必要であると認められる場合は、保護林管理委員会に諮ったうえで、実施間隔を短縮することとする。

モニタリング実施間隔内訳表

	5年 未満	5年							10年	合計
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ		
森林生態系 保護地域	0	0	1	0	0	0	0	1	6	8
生物群集 保護林	0	0	0	0	0	0	0	7	7	14
希少個体群 保護林	0	3	0	8	0	8	0	26	40	85
合計	0	3	1	8	0	8	0	34	53	107

### (2) モニタリング調査項目、調査手法選択の基本的な考え方

旧モニタリング調査からの継続性が重要であることから、区分ごとに従前実施してきた調査項目と概ね変わらない項目で実施するものとする(資料2-5)。

### (3) モニタリング調査プロット設定の基本的な考え方

関東局管内の保護林においては、各保護林の特徴を勘案した上で、保護林を代表する地点に調査プロットが設定されている。このため、既設プロットにおける継続調査を基本とするが、以下の項目に該当する保護林については、保護林再編に伴う状況等の変化から、調査プロットの変更等の検討を行う。

また、従前通り生態系多様性基礎調査の活用を検討する。

#### ■ 面積を拡充した保護林

再編した保護林の機能評価を行うため、拡充区域に調査プロットを新規に設置するべきと判断される保護林については、拡充区域において新設プロットの設置を検討する。

#### ■ 複数の保護林を統合した保護林

旧保護林における植物群落の分布状況及び構造特性を検討した上で、再編した保護林内の植物群落を代表する地点となっているプロットは継続とする。また、同様な植生タイプを示す既設プロットが複数ある場合は、幾つかを廃止し、それぞれのタイプを代表するプロットに絞ることを検討する。

■ 設定目的や保護対象が変更された保護林

再編した保護林の設定目的等に応じたモニタリング調査となるよう、新たな保護林を代表する地点へ調査プロットを移設することを検討する。

(4) 保護林モニタリング調査方法の効率化

従前、保護林モニタリング調査は、各保護林について、1年目に基礎調査、その次年度に基礎調査の結果を基にした現地調査を実施するという形式でモニタリング調査を行ってきたところであるが、モニタリング調査の効率化を図るため、平成30年度より、単年度でモニタリング調査を行うものとする。

また、計画区をまたいで所在する保護林については、従前、計画区ごとにモニタリング調査を行っていたが、効率的及び効果的なモニタリング調査を行うため、同一年度に全区域をモニタリング調査することとする。

別紙1

保護林区別モニタリング実施間隔

〈森林生態系保護地域〉

番号	保護林名称	面積(ha)□	モニタリング実施間隔		根拠	備考
			実施間隔	次回実施年度		
1	南アルプス南部光岳森林生態系保護地域	3,247.99	5	34	キ	シカ被害
2	朝日山地森林生態系保護地域	21,718.77	10	35		
3	吾妻山周辺森林生態系保護地域	8,197.69	10	35		
4	飯豊山周辺森林生態系保護地域	18,343.01	10	35		
5	奥会津森林生態系保護地域	83,992.18	10	37		
6	利根川源流部・燧ヶ岳周辺森林生態系保護地域	20,085.77	10	38		
7	小笠原諸島森林生態系保護地域	5,578.99	5	32	イ	復元
8	佐武流山周辺森林生態系保護地域	3,953.53	10	38		
	5年間隔(2箇所)	8,826.98	2箇所			
	10年間隔(6箇所)	292,488.59	6箇所			
	計	301,315.57	8箇所			

保護林区分別モニタリング実施間隔

〈生物群集保護林〉

番号	保護林名称	面積(ha)	モニタリング実施間隔		根拠	備考
			実施間隔	次回実施年度		
1	奥鬼怒生物群集保護林	2,585.35	5	34	キ	シカ食害あり
2	甲子・二岐山周辺生物群集保護林	3,100.08	10	30		
3	上野檜原シオジ等生物群集保護林	290.19	5	30	キ	シカ食害あり
4	越後山脈生物群集保護林	2,008.53	10	30		
5	大佐飛山地生物群集保護林	8,152.35	10	36		
6	尚仁沢生物群集保護林	616.34	10	36		
7	愛鷹山生物群集保護林	570.17	5	31	キ	シカ食害あり
8	富士山生物群集保護林	1,027.09	5	31	キ	シカ食害あり
9	八丁池・皮子平生物群集保護林	636.75	5	32	キ	シカ食害あり
10	阿武隈高地生物群集保護林	1,189.84	10	38		
11	秩父山地生物群集保護林	2,145.46	5	33	キ	シカ食害あり
12	丹沢山地生物群集保護林	880.85	5	33	キ	シカ食害あり
13	小松原湿原生物群集保護林	1,498.84	10	38		
14	守門岳生物群集保護林	1,778.26	10	38		
	5年間隔	32,360.09	7箇所			
	10年間隔	21,694.32	7箇所			
	計	54,054.41	14箇所			

保護林区分別モニタリング実施間隔  
 〈希少個体群保護林〉

番号	保護林名称	面積(ha)□	モニタリング実施間隔		根拠	備考
			実施間隔	次回実施年度		
1	小川ブナ希少個体群保護林	103.51	5	34	ア	シラカンバ遷移
2	和尚山ブナ希少個体群保護林	23.17	10	39		
3	猿ヶ城アズマシャクナゲ希少個体群保護林	28.40	10	39		
4	板木リンボク・カゴノキ希少個体群保護林	10.68	10	39		
5	西金砂スダジイ希少個体群保護林	14.39	10	39		
6	八溝山ツガ・ダケカンパ希少個体群保護林	29.49	5	34	ウ	ダケカンパ持続性
7	花瓶山ブナ・イヌブナ希少個体群保護林	11.93	10	39		
8	黒沢ウラジロモミ・クロベ遺伝資源希少個体群保護林	13.88	10	39		
9	刈込湖コメツガ遺伝資源希少個体群保護林	35.28	10	39		
10	裏見の滝コナラ遺伝資源希少個体群保護林	4.96	10	39		
11	湯滝ミズナラ遺伝資源希少個体群保護林	13.18	5	34	キ	シカ防止柵内
12	竜頭の滝カラマツ遺伝資源希少個体群保護林	12.98	5	34	キ	シカ被害
13	光徳ハルニレ希少個体群保護林	13.71	5	34	キ	シカ防止柵内
14	戦場ヶ原湿原希少個体群保護林	174.68	5	34	キ	シカ防止柵内
15	小田代湿原希少個体群保護林	69.28	5	34	キ	シカ防止柵内
16	光徳ミズナラ希少個体群保護林	24.28	5	34	オ	シカ被害が顕著
17	千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ希少個体群保護林	98.95	5	34	オ	シカ被害が顕著
18	西ノ湖ヒメコマツ・シロヤシオ希少個体群保護林	56.24	5	34	オ	シカ被害が顕著
19	高原山イラモミ希少個体群保護林	90.89	5	34	キ	シカ被害
20	原付ヒノキ希少個体群保護林	9.01	10	39		
21	唐沢コメツガ希少個体群保護林	57.08	5	34	オ	シカ被害が顕著
22	大真名子コメツガ希少個体群保護林	12.24	10	39		

番号	保護林名称	面積(ha)	モニタリング実施間隔		根拠	備考
			実施間隔	次回実施年度		
23	茶ノ木平ウラジロモミ希少個体群保護林	81.43	5	34	キ	シカ被害
24	諏訪森アカマツ希少個体群保護林	10.79	5	34	キ	マツ枯れ
25	コガネ沢ブナ・イヌブナ希少個体群保護林	28.21	5	34	キ	シカ被害
26	川上ツガ・ハリモミ希少個体群保護林	54.03	5	34	キ	シカ被害
27	岩岳山アカヤシオ・シロヤシオ希少個体群保護林	199.39	5	34	キ	シカ被害
28	京丸山キョウマルシャクナゲ希少個体群保護林	37.49	5	34	キ	シカ被害
29	瀬尻ホソバシャクナゲ希少個体群保護林	21.20	5	34	ウ	ホソバシャクナゲ持続性
30	観音山スギ・シブカワツツジ希少個体群保護林	7.94	10	39		
31	本坂峠ヤブツバキ希少個体群保護林	5.76	10	39		
32	増沢モミ希少個体群保護林	7.68	10	30		
33	日山ミズナラ希少個体群保護林	21.13	5	30	ウ	ミズナラ持続性
34	深沢ヒノキアスナロ希少個体群保護林	175.28	5	30	キ	天狗巣病
35	滝サワラ希少個体群保護林	7.51	10	30		
36	八幡岳周辺ブナ・ミズナラ希少個体群保護林	214.21	10	30		
37	天丸山ヒノキ・ハコネコメツツジ希少個体群保護林	119.35	5	30	キ	シカ被害
38	元清澄山ツガ・ヒメコマツ遺伝資源希少個体群保護林	170.29	5	30		
39	南房総モミ希少個体群保護林	5.56	5	30	キ	シカ被害
40	赤谷山スギ遺伝資源希少個体群保護林	10.77	5	30		
41	俎倉山スギ希少個体群保護林	143.95	10	30		
42	白山ケヤキ遺伝資源希少個体群保護林	6.53	10	30		
43	目指岳コウヤマキ遺伝資源希少個体群保護林	10.33	10	30		
44	大久蔵トチノキ遺伝資源希少個体群保護林	8.83	10	30		

番号	保護林名称	面積(ha)	モニタリング実施間隔		根拠	備考
			実施間隔	次回実施年度		
45	猿ヶ城岩オオフジシダ希少個体群保護林	5.25	10	30		
46	上佐野スギ・ブナ・イヌブナ希少個体群保護林	19.82	5	30	キ	シカ被害
47	安倍峠オオイタヤマメイツ希少個体群保護林	9.96	5	30	キ	シカ被害
48	八溝山シロヤシオ希少個体群保護林	43.59	10	36		
49	那須街道アカマツ遺伝資源希少個体群保護林	41.81	5	31	オ	マツ枯れ
50	流石山・大峠ミヤマナラ希少個体群保護林	97.31	10	36		
51	武尊山シラカンバ遺伝資源希少個体群保護林	8.60	5	31	ア	シラカンバ遷移
52	栗原川ウダイカンバ遺伝資源希少個体群保護林	11.75	5	31	ア	ウダイガンバ遷移
53	谷川岳サワグルミ遺伝資源希少個体群保護林	8.28	10	36		
54	玉原アスナロ希少個体群保護林	5.73	10	36		
55	法師クロベ希少個体群保護林	17.41	10	36		
56	高尾山モミ希少個体群保護林	4.85	5	31	ウ	モミ持続性
57	犬ヶ岳ホンシャクナゲ希少個体群保護林	115.00	10	36		
58	蓮華ライチョウ希少個体群保護林	974.82	10	36		
59	火打山周辺ライチョウ希少個体群保護林	826.74	5	31	ウ	ライチョウ持続性
60	富士山峠塚ウラジロモミ希少個体群保護林	4.84	5	31	キ	シカ被害
61	富士山六番ブナ希少個体群保護林	6.17	5	31	オ	シカ被害が顕著
62	龍ノ山ヒマコマツ遺伝資源希少個体群保護林	5.63	10	37		
63	喰丸峠ケヤキ遺伝資源希少個体群保護林	5.93	10	37		
64	飯豊スギ希少個体群保護林	36.00	10	37		
65	雄国沼湿原希少個体群保護林	174.13	5	32	ウ	湿原持続性
66	根本沢シオジ遺伝資源希少個体群保護林	21.28	10	37		



番号	保護林名称	面積(ha)	モニタリング実施間隔		根拠	備考
			実施間隔	次回実施年度		
67	白川ウラジロガシ遺伝資源希少個体群保護林	5.08	10	37		
68	皮子沢モミ希少個体群保護林	11.26	5	32	キ	シカ被害等
69	しらぬたの池モミ・スギ希少個体群保護林	39.96	5	32	キ	シカ被害等
70	寒天モミ希少個体群保護林	11.29	5	32	キ	シカ被害等
71	浄蓮ウラジロガシ・アカガシ希少個体群保護林	37.35	5	32	オ	シカ被害が顕著
72	猫越ウラジロガシ希少個体群保護林	11.28	5	32	ウ	ウラジロガシ等持続性
73	長九郎シャクナゲ希少個体群保護林	7.38	5	32	キ	シカ被害
74	黄楊の峯ツゲ希少個体群保護林	18.85	5	32	キ	シカ被害
75	津島マツ遺伝資源希少個体群保護林	3.43	10	38		
76	木戸川コナラ希少個体群保護林	108.23	5	33	ウ	コナラ持続性
77	赤井岳ヒノキ遺伝資源希少個体群保護林	10.55	10	38		
78	黒斑山カラマツ希少個体群保護林	75.80	10	38		
79	万座カラマツ希少個体群保護林	22.96	10	38		
80	西丹沢ブナ希少個体群保護林	225.10	5	33	キ	シカ被害
81	西丹沢モミ希少個体群保護林	50.31	5	33	キ	シカ被害
82	箱根ヒメシャラ・ハコネコメツツジ希少個体群保護林	150.03	10	38		
83	梶橋ブナ遺伝資源希少個体群保護林	17.60	10	38		
84	雨生池アマゴイルリトンボ希少個体群保護林	12.75	10	38		
85	笠堀カモシカ希少個体群保護林	5,267.41	10	38		
	5年間隔	3,308.87	45箇所			
	10年間隔	7,478.52	40箇所			
	計	10,787.39	85箇所			